



ヨコハマ市民まち普請事業

第2次整備提案書

※ 記入上の注意

- 2号様式はページを増やさず、必ず3ページ以内でまとめてください。
- 2号様式は市民に公開しますので、個人が特定できる情報は記入しないでください。

1 整備提案の概要について

整備提案名	長津田の樹木を利活用したアートワークプロジェクト
提案グループ名	長津田駅北側まちづくり協議会
整備場所の所在地 (町名又は丁目まで記入)	緑区 長津田二丁目
整備したい施設の概要	長津田駅北口地区再開発事業区域(2.2ha)内外に、地区に植えていた樹木の伐採材を加工し、室内壁面装飾やモニュメント等を設置する。また準備期間に樹木移植の取組みを行う。
整備助成金申請 予定額	500万円
設計及び整備の スケジュール	<p>■ 次回一次免除を希望します。</p> <p><準備期間> ※助成対象外の取組み</p> <p>H22年1月～3月 告知活動、伐採に際したワークショップ 樹木移植への働きかけ</p> <p>H22年4月～9月 参加者募集プレワークショップ</p> <p>H22年10月～H23年3月 デザイン検討プレワークショップ</p> <p><実施期間> ※助成対象</p> <p>H23年4月～H24年3月 製作ワークショップ</p> <p><継続期間> ※助成対象外の取組み</p> <p>H24年4月～6月 残材利用ワークショップ</p> <p>H24年7月～12月 作品設置、現場見学会</p> <p>※再開発事業はH25.3完成予定</p>

2 創意工夫について

<p>計画について、特に工夫した点を記入してください。</p> <p>(住民等が持つ発想、方法などを生かしたアイデアやユニークさ及びデザインへの配慮)</p>	<p>1次審査通過後、木材を使ったアートワークに詳しいコンサルタントと契約して、再開発事業の新たな進ちょくにあわせて実行スケジュールを変更するほか、アートワーク実施のための準備活動の内容などを検討し、全体工程を見直しました。</p> <p>これによりH22年度は試行的なプレワークショップを行うなどの準備期間とし、H23年度に事業実施とすることで、課題となっていた伐採材の乾燥期間不足などを解消し、また周辺住民への周知活動やアイデア募集活動を充実させることができるなど、より密度の濃い活動成果が得られるものと考えています。</p> <p>またイベントとして、シンボルツリー(ケヤキ)の移植が可能な場合は、根回し等の作業など住民参加で行うことも検討しています。</p>
---	---

<p>整備における地域での費用や労力の負担について、特に工夫した点を記入してください。</p> <p>※ 詳細については、「想定整備費用内訳書（第3号様式）」に記入してください。</p>	<p>本協議会の広報紙「創生」の各自治会（26自治会）内の回覧や掲示を行い、まち普請事業への提案概要や今後の参加への呼びかけを行いました。今後も広報紙等によりワークショップ・イベント等のお知らせを行うとともに、小学校・子供会・幼稚園・学童保育クラブ等にも参加者を募集していく予定です。</p> <p>また準備期間に地区内より検討参加メンバーを募り、具体案や費用を明確にし、費用枠内での実施内容を検討します。助成期間外の取組み等については企業、関係機関等にも協賛等を募りながら進めていくことを検討しています。</p>
<p>整備した施設の維持管理・運営^{注5)}計画及びその実施方法などについて、特に工夫した点を記入してください。^{注5)}施設を活用したまちづくりイベント等を含む。</p>	<p>再開発のシンボルとなれるようにするため、作品設置後も地域住民や自治会、施設管理者など地域のみんなが愛着を持って維持管理できるよう、みなさんの意見を取り入れたものにし、移植樹木や作品の設置については、無理のない方法を関係機関等と折衝し決めていきます。</p> <p>またアートワークにより多くの関心と期待を持っていただくため、準備期間中の樹木の移植・伐採時からプレワークショップ・イベントを開催します。</p>

3 実現性について ※次回一次免除希望

<p>地域（地権者、整備場所の近隣住民、地域住民、自治会町内会等）での合意形成や関係機関との調整結果の概要について記入してください。</p>	<p>1次審査通過後、協議会でも新たな参加者を募り、具体的検討を行っていき「まち普請部会」を設立しました。</p> <p>本協議会の提案を受け、市から伐採樹の無償提供と、また再開発事業施行者である横浜市住宅供給公社からはアートワーク実施までの間の木材の乾燥場所等についての提供協力の内諾をもらうなど、まち普請事業実施に向けた共同推進の体制を整えています。</p> <p>また長津田自治連合会にまち普請事業の提案内容説明や途中経過の報告を行い、各自治会の回覧・掲示協力をいただいた広報により、今後の地域の協力をお願いをいたしました。</p> <p>今後更に地域から参加メンバーを募り、実施に向けた活動を行っていきます。</p>
--	--

4 公共性について

<p>地域のどのような課題やニーズに基づいて整備計画が作成されたのか、また整備した施設が地域にどのくらい貢献するか記入してください。</p> <p>※ 第1次整備提案書よりも具体的に記入してください。</p>	<p>長津田再開発区域内の樹木に関しては、当初伐採処分の予定でしたが、これらについて移植・伐採材の利活用をする取組みを地域の住民参加で進めていくことで、地区にもあらたなコミュニケーションが生まれ、なによりも住む街への愛着が生まれると考えています。</p>
--	---

5 費用対効果について

<p>整備コスト縮減について、特に工夫した点を記入してください。</p> <p>(材料の調達方法や施行業者への発注方法など)</p> <p>※ 整備に要する費用や労力の負担については、「2 創意工夫について」に記入してください。</p>	<p>① 材料の無償提供</p> <p>アートワークに使用する材料は、樹木伐採後に横浜市から無償提供をうけます。</p> <p>② 材料置き場の提供協力</p> <p>アートワークに使用する木材の伐採後の乾燥場所や、製作後の作品設置までの間の保管場所について、横浜市住宅供給公社が再開発事業の区域内に、可能な範囲・期間で提供いただきます。</p> <p>(なお、整備コスト縮減等については、今後のH22年度のプレワークショップなどの取り組みを行う中で試行・検討していきます。)</p>
--	--

6 地域まちづくりへの発展性について

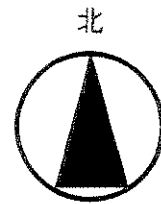
<p>整備をきっかけとして、地域コミュニティが広がる又は深まる可能性、及び地域のまちづくり活動が活発化する可能性について記入してください。</p>	<p>「地域の皆が参加でき」「地域の資産を利用して」「その成果が地域に根ざしていくもの」は何かを考え、今回のアートワークプロジェクトを企画いたしました。</p> <p>このワークショップを行うことで、地域住民のコミュニケーションの輪が広がり、小学生から若者までの世代にとっても「この地区への愛着が増す」こと、また我々長津田に住む住民がこうしたまちづくり活動を行うことで、「こういう面白いことが長津田でできるんだ」という自信と新たな地域活動への発展につながることを期待しています。</p>
---	---

7 特にPRしたい点について

<p>提案について特にPRしたい点があれば、記入してください。</p>	<p>アートワークプロジェクトの実施に並行して、地区内の樹木の移植の取組みを、H21年度に引き続き、22年度も行っていきます。</p> <p>樹木については市と施行者に移植についてのご配慮をお願いしたところ、移植の可能性を調査するため樹木医による詳細診断を行っていただくことができました。この診断結果（H21.12末の予定）をもとに、引き続き市と公社には移植の可能性のある樹木については地区内外での保存の取組みをお願いしていきます。</p> <p>なおH22年度は、長津田地区のシンボルツリーとなるよう、協議会が主体となってケヤキの移植の取組みを行っていく予定です。</p>
-------------------------------------	---

記載内容について次の点を確認後、チェックボックスに✓を入れてください。

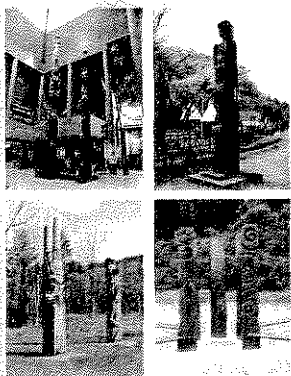
- 記載内容は真実であり、虚偽はありません。
- 記載内容に個人情報はありません。



位置図
縮尺 1 : 3,500

整備イメージ(案)

トーマボール等の
モニュメントの設置



消防出張所

公共駐輪場

区民文化センター

住宅

商業施設

ポケットパーク

個割店舗

駅前広場

区民文化センター施設内
の壁面レリーフ等の設置



平面図

縮尺1:800

※作成する作品内容については、H22年度に検討していきます。

ヨコハマ市民まち普請事業

想定整備費用内訳書

※ 記入上の注意

- 「主な整備項目」「細目」欄の記入にあたっては、事務局と事前に十分調整してください。
- 「数量」欄については、やむを得ない場合を除き、「一式」と記入しないでください。
- 「地域住民等の参加」欄については、例えば地域が労力を負担する場合は、何人くらいが何日間くらい作業を行うかなど、できるかぎり具体的に記入してください。（見込みも含めて記入してください。）また、小中学校や子供会などが参加する場合は、その旨を明記してください。

主な整備項目	細目	数量	単価	計	地域住民等の参加 （費用又は労力の負担等）
招致費	指導アーティスト謝金	20日	30,000	600,000	
	制作補助アシスタント謝金	45人/日	20,000	900,000	
ワークショップ 運営費	会場費、及び設備費	8回	0	0	学校、地区施設などを無償賃借
	設営費、養生、清掃経費	8回	0	0	住民参加による
	絵具、共有工具、養生材等購入費	1式	100,000	100,000	
	ワークショップ保険費	1000人/日	200	200,000	
材料費	利用樹木伐採費	15本	0	0	再開発施行者負担
	利用樹木粗取り加工費 （乾燥促進のため）	15本	60,000	900,000	枝払い、残材処理などは住民参加
	利用樹木保管費	360日	0	0	再開発施行者の協力による
ブロックレリーフ外注制作費	単位素材加工費、引取、搬入費	5000個	200	1,000,000	
	組み立て加工費、引取、搬入費	20㎡	40,000	800,000	
広報費	チラシ作成費	10000部	10	100,000	
設計管理費	作品構造設計、基礎設計費	1式	500,000	500,000	
合 計				5,100,000	

※平成23年度実施案として